

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月03日

計画の名称	青森駅周辺地区（中新町山手地区）における高次な都市機能の集積による住環境整備													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	青森市													
計画の目標	青森駅周辺地区は、商業、医療、業務、都心居住、交流などの都市機能が集積しているが、老朽化した建物、空地、中小小売店舗等の共同化・集約化などが課題となっている。 市街地再開発事業などの国の支援等を活用しながら、高次な都市機能の集積を図り、良好な居住環境の形成を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		3,976	A	3,976	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		R05
1	近年減少傾向にある青森駅周辺地区の歩行者数に歯止めを掛ける。 青森駅周辺地区における歩行者通行量を調査する。 事業実施地区を中心に半径300m以内の4地点における歩行者通行量の合計	15768人 / 日	人 / 日	15768人 / 日
2	居住誘導区域への居住を促進することにより、人口減少下においても、一定以上の人口密度を維持する。 居住誘導区域内の1ha当たりの居住人口密度を調査する。 住民基本台帳データから、居住誘導区域内の人口を算出し、居住誘導区域内の居住人口密度を算出	52人 / ha	人 / ha	50人 / ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当該整備計画は、「青森駅周辺地区における高次な都市機能の集積による住環境整備」から令和元年10月に中新町山手地区を分割。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	青森市	間接	中新町山手 地区市街地 再開発組合	-	-	中新町山手地区第一種市 街地再開発事業	商業、業務、ホテル、住宅、 駐車場 0.5ha	中新町山手	■	■	■	■	■	3,831	2.21	-
		令和元年度の事業は、整備計画「青森駅周辺地区における高次な都市機能の集積による住環境整備」にて実施。																	
	A16-002	住宅	一般	青森市	間接	中新町山手 地区市街地 再開発組合	-	-	中新町山手地区防災・省 エネまちづくり緊急促進 事業	商業、業務、ホテル、住宅、 駐車場、0.5ha	中新町山手				■	■	145		-
											小計						3,976		
											合計						3,976		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・ 本市の担当部局にて評価を実施 ・ 学識経験者等で組織する本市の社会資本整備評価委員会にて審議	令和6年11月
	公表の方法
	青森市ホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市街地再開発事業を実施したことにより、青森駅周辺地区の歩行者数や居住誘導区域内の人口密度が維持され、高次の都市機能の集積と良好な住環境の形成が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
今後も別計画により住環境整備事業（市街地再開発事業）の実施を予定しており、引き続き、良好な居住環境の形成を目指していく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	15768人 / 日	平成30年現況の際はインバウンド需要等により歩行者数が増加していた時期にあった。現在は、コロナ禍の外出自粛やインバウンド需要減少などの影響による落ち込みから回復基調にあるものの、青森駅周辺地区の歩行者数は目標値達成には至らなかった。また、令和2年に再開発地区に隣接するスーパーが閉店した影響も大きいと考えられる。今後、別計画において住環境整備事業（市街地再開発事業）の実施を予定しているため、引き続き目標値達成のため取組を継続していく。
	最 終 実績値	12792人 / 日	
2			
	最 終 目標値	50人 / ha	市内全体の著しい人口減少の影響により、居住誘導区域内の人口密度は目標値を若干下回っているものの、ほぼ目標値を満たしている。（最終目標値 49.8人/ha・最終実績値 49.4人） なお、施行地区の町字人口は増加している。
	最 終 実績値	49人 / ha	